



せいめい

清明（4日）… 園庭の花が鮮やかな彩りを見せます …

都会でも、道端に咲く可憐な花などに出会う機会はたくさんあります。港区は意外と自然が豊かです。勤務する園の自然や季節の移ろいを「二十四節気」に合わせてお知らせし続け、すでに15年近くになります。身近な自然の変化に気付く心は、子どもの心のサインに気付く感性を磨くことにもなると思い、続けているコラムです。「青南の二十四節気」も4年目を迎えます。この小さなコラムが、皆さんの身近な自然の変化に思いを寄せるきっかけになれば幸いです。

## <二十四節気と七十二候>

園だよりの巻頭言の中に「青南の二十四節気」という小さなコラムを掲載しています。初めて管理職になって赴任した赤羽幼稚園の自然環境が豊かで、季節の移り替わりがとても感動的で、そのときから二十四節気にちなんだ文章を綴り始めたのです。元々、自然との関わりを大事にして保育してきたこともあり、季節の移ろいを感じることは、教師としてとても大事だと思っていました。外出ができない今こそ。身近な自然に目を向けてみると、意外なところに発見があると思います。



かえでもチューリップもみずみずしい季節です

## <玄鳥至 つばめきたる（4月4日～8日）>

一年を二十四の小さな季節に分けたものが、二十四節気です。今は、その中の清明です。そして、それをさらに細分化したのが七十二候（しちじゅうにこう）です。清明の中の最初の5日間、初候が「玄鳥至」という季節です。この暦とは少しずれますが、例年5月頃になると、駅から園までの間のビルの入り口にツバメが巣を作って、子育てをしていました。今は新しいビルになり、今年はやって来るかどうか心配していますが…。幼稚園に飛んで来てくれたら大歓迎ですね。



畑のジャガイモがぐんぐん伸びています

## <家庭は生活を学ぶ学校です>

長い自宅での制限された生活で大変なことがたくさんあると思います。幼児期に最も大事なことは、遊びですが、同じように大事なことがあります、それは生活です。今回、家での生活を余儀なくされていますが、逆に、家の中の仕事を子どもたちがじっくりと見たり、手伝ったりできるいいチャンスです。

洗濯物をたたむ、食器を運ぶ、ベランダの花の世話をする…。何でもいいのです、子どもと一緒に相談してみて、任せてみるのもいいですね。仕上げは大人がしてあげる余裕をもって、子どもが家族の一員として役に立っていると思えたらすてきです。どんなことも前向きに捉えていきましょう！

臨時休業中、幼稚園の様子を少しずつでもお伝えしたいと思います。せっかくなので、青南の自然をより知ってもらう機会にできたらうれしい限りです。

また、子どもの生態！？や子育てのコツなどについても、お伝えしていきたいと思っています。次回からはもう少しコンパクトに、できれば七十二候に合わせて、お伝えしていけたらと思っています。やや不定期便になりますが、よろしく願います。